



MS341-48008/9 フロントスポイラー Ver.1

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントスポイラー Ver.1をお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記TRDフロントスポイラーの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS341-48008-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	ハリアー '17/06~
MS341-48008-C0	ブラック (202)	
MS341-48008-C1	スパークリングブラックパールクリスタルシャイン (220)	
MS341-48009-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

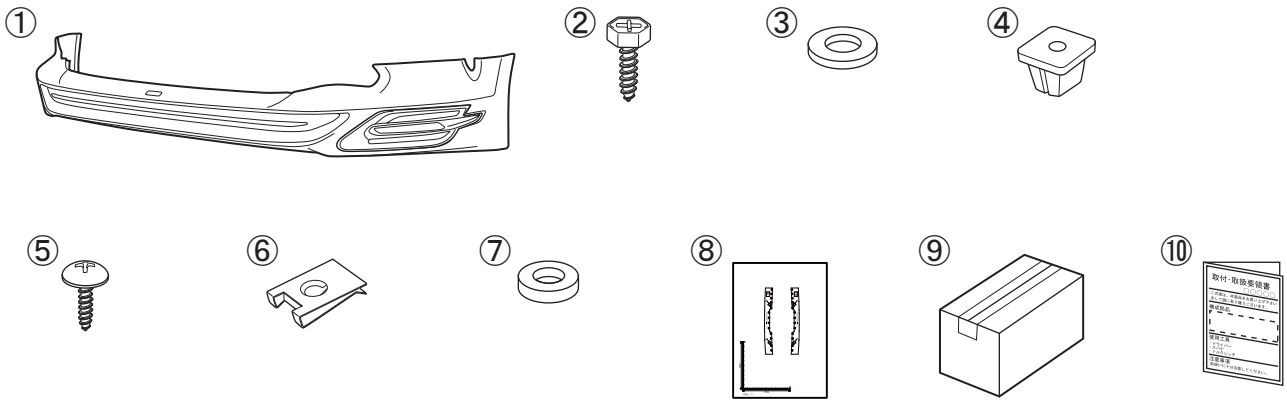
No.	品名	個数	備考
①	フロントスポイラー	1	
②	タッピングスクリューA	2	M6×25
③	ワッシャー	2	t1×6
④	グロメット	2	
⑤	タッピングスクリューB	4	M4×14
⑥	スピードナット	4	M4
⑦	クッションワッシャー	4	
⑧	型紙	1	
⑨	LEDキット (小箱)	1	
⑩	取付・取扱要領書	1	本書

以下、MS341-48009-NP (未塗装品セット) のみに同梱

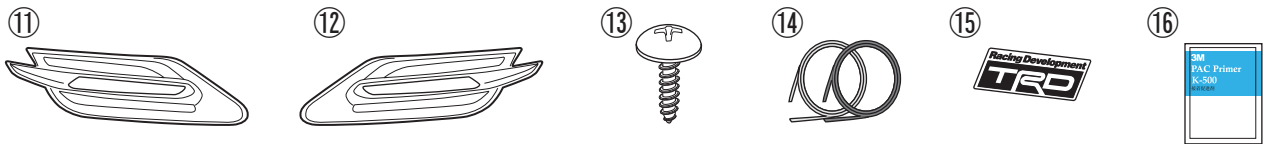
No.	品名	個数	備考
⑪	メッキガーニッシュ RH	1	
⑫	メッキガーニッシュ LH	1	
⑬	タッピングスクリューC	4	M5×10
⑭	モール	各1	黒 / ライトグレー
⑮	エンブレム	1	
⑯	PACプライマー	1	K-500

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MS341-48009-NP（未塗装品セット）のみに同梱



モール⑭推奨使用色

塗装色（色記号）	モール色
ホワイトパールクリスタルシャイン（070）	ライトグレー
ブラック（202）	ブラック
スパークリングブラックパールクリスタルシャイン（220）	ブラック
シルバーメタリック（1F7）	ライトグレー
ダークブルーマイカメタリック（8W7）	ブラック
ダークレッドマイカメタリック（3Q3）	ブラック

取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または、「(株)タクティータ取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N (5Kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け24時間は、洗車や水(水拭き含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

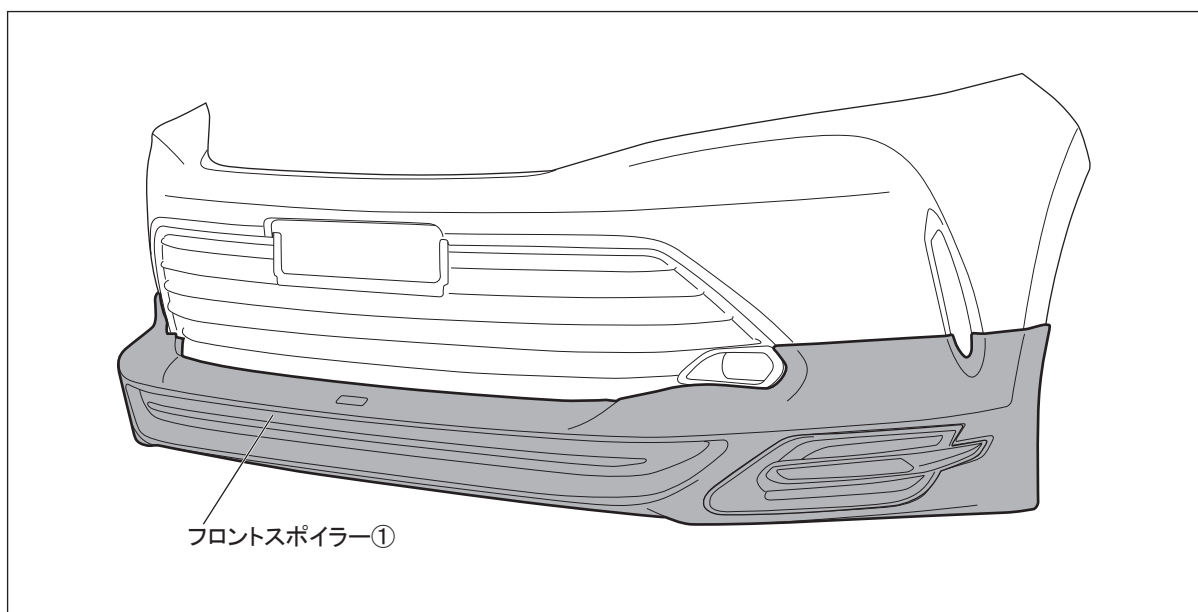
■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1～2
2. 取付け・取扱いご注意（作業者様へ） 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 4
4. 取付け要領 5～11
5. 取付け後の確認・点検 11

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・プラスドライバー・シム（1mm/2mm）
- ・電動ドリル（刃：2.0mm/5.0mm）・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ
- ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 取付構成図



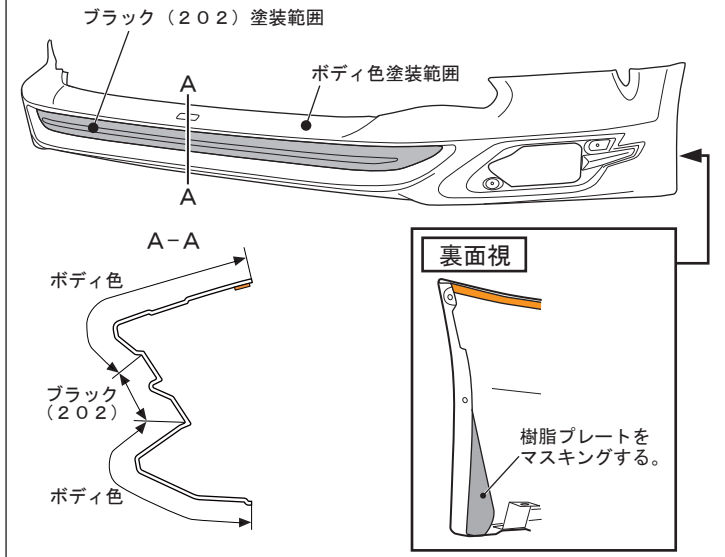
【塗装済み品の取付けは、7ページに進み作業を行なってください。】

■未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS341-48009-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

図1

塗り分け推奨色：ブラック（202）



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□フロントスポイラーの塗装

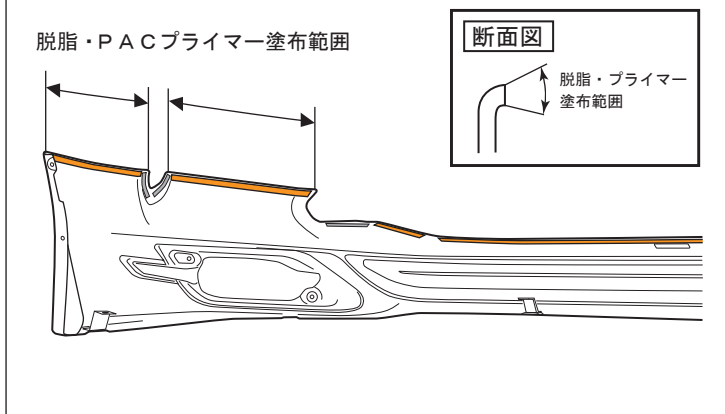
1. 図1のようにフロントスポイラー①を塗装する。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

△警告：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

図2 裏面視



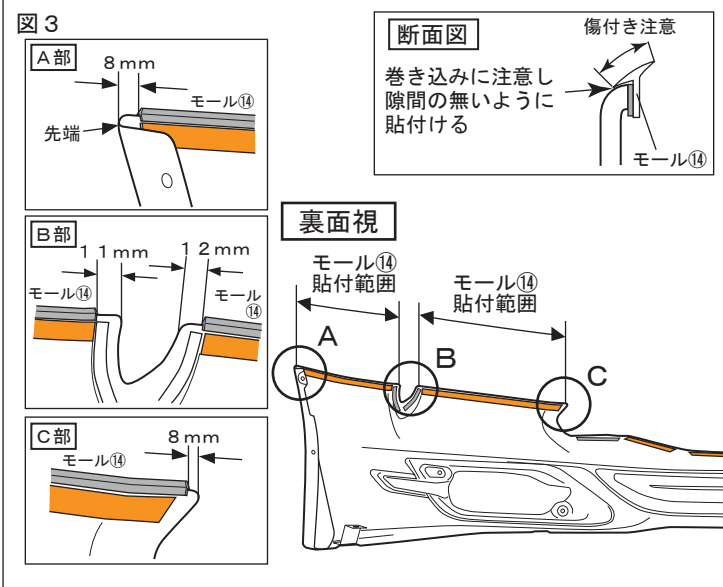
□モールの貼付け

1. 図2のようにモール貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみPACプライマーK-500⑩を塗布する。

△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

△注意：PACプライマーK-500⑩は、メッキパーツおよびリヤバンパースポイラー取付けの際も使用するため、乾燥しないように保管してください。



2. 図3のようにフロントスポイラー①にモール⑭を貼付け圧着する。
モール⑭は長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モール⑭は、二色同梱されています。
塗装色に合わせてモール色を選択し貼付けてください。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

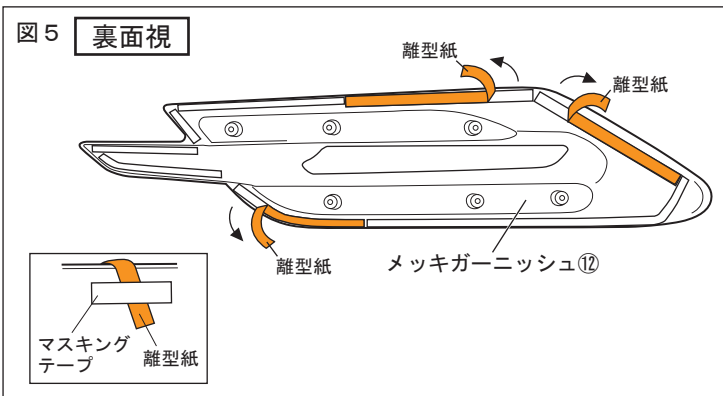
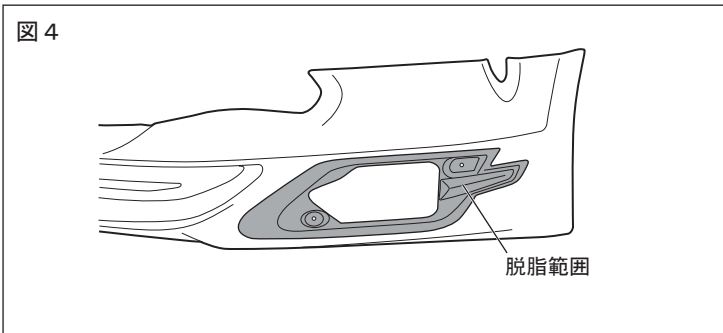
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□メッキガーニッシュの貼付け

1. 図4のようにメッキガーニッシュ⑫貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

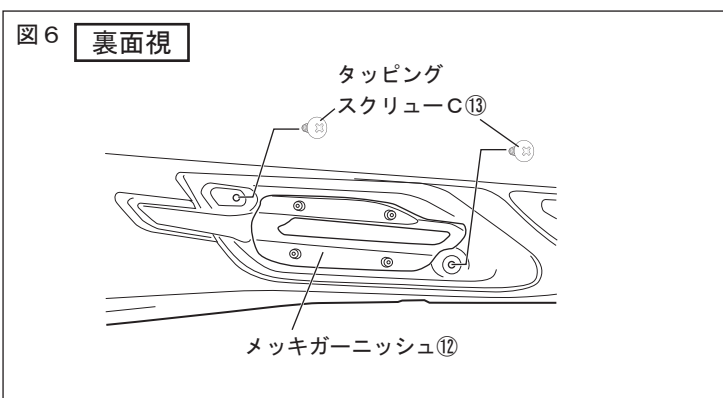
△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。



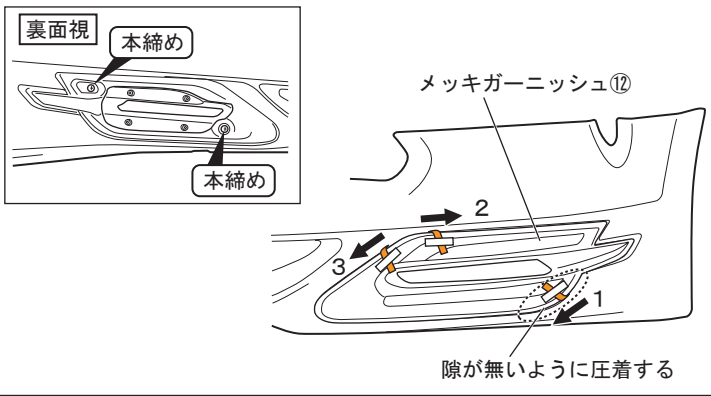
2. 図5のようにメッキガーニッシュ⑫の両面テープの離型紙を約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。
(左右各2箇所)

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。



3. 図6のようにメッキガーニッシュ⑫をフロントスポイラー①にかぶせ、裏側からタッピングスクリューC⑬で仮止めする。
(左右各2箇所)

図7



- 図7のように取付け位置及び各部の相沿いを確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
- 圧着後、タッピングスクリューC⑬を本締めする。(左右各2箇所)

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

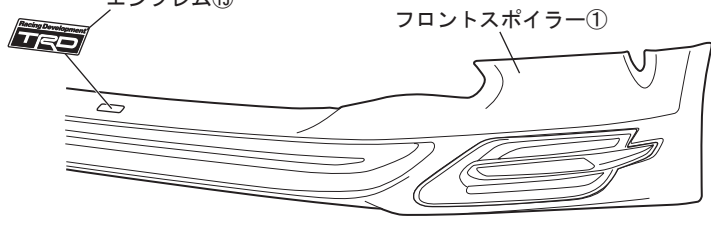


アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。



警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

図8



□エンブレムの貼付け

- 図8のようにフロントスポイラー①中央のエンブレム貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向に拭いて脱脂し、凹部中央にエンブレム⑮を貼付ける。

★フロントスポイラー取り付け作業に進む前に、LEDデイタイムランプ取付要領に従いLEDデイタイムランプの取付作業を行ってください。

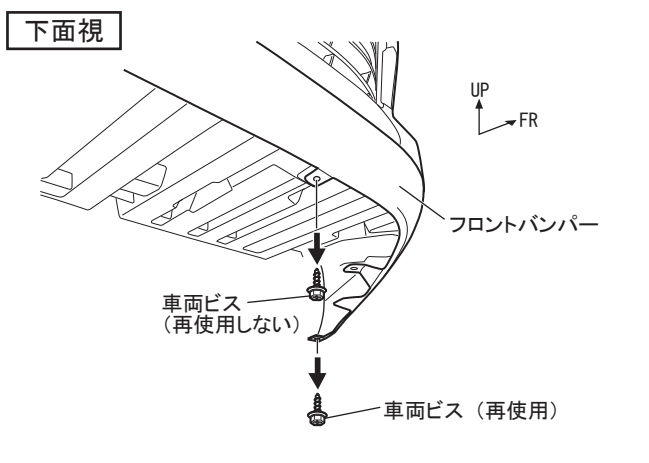
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

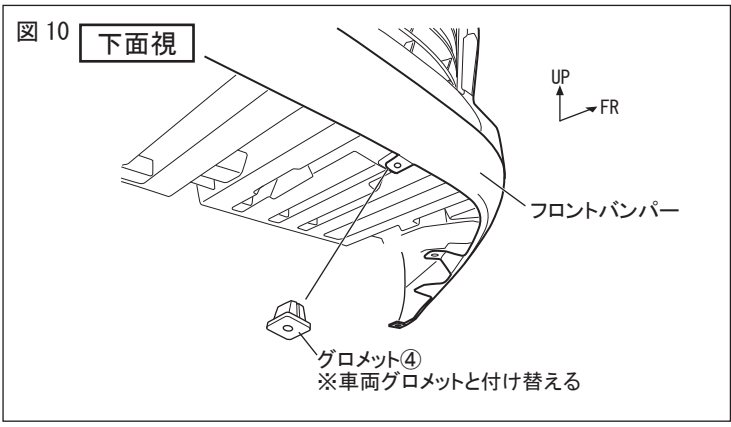
□フロントスポイラー取付準備

- 図9のようにフロントバンパー下面の車両ビスを取り外す。(左右各2箇所)

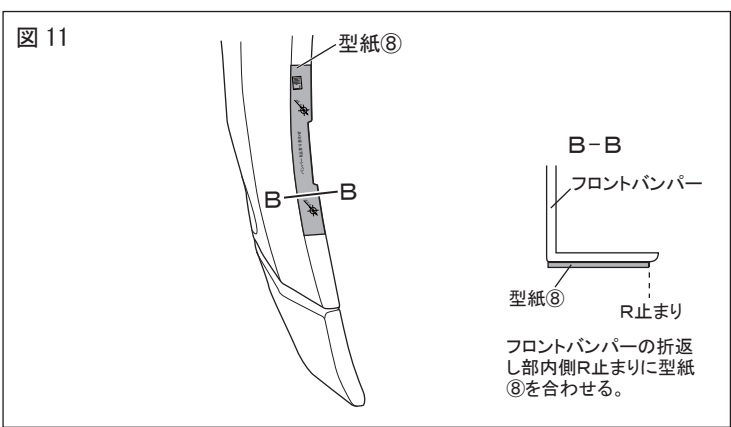
△注意：取り外した車両ビス（左右各1個）は、再使用する為、紛失や破損に注意してください。

図9

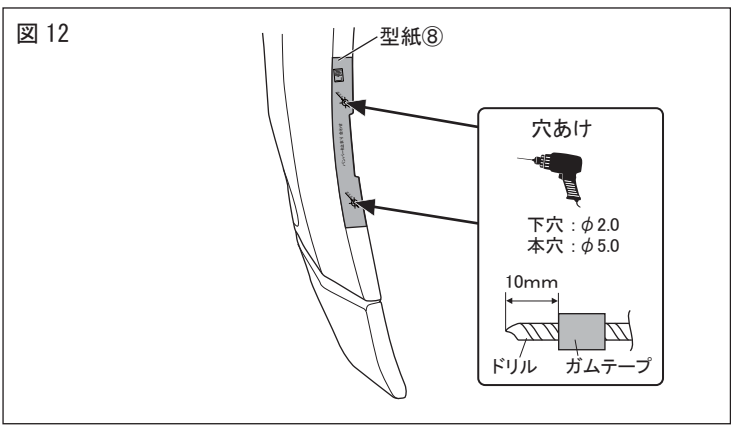




2. 図 10 のように車両グロメットを取り外し、グロメット④を取り付ける（左右各1箇所）



3. 図 11 のようにフロントバンパーのホイールハウス折り返し部に型紙⑧を貼付ける。（左右各 1 箇所）



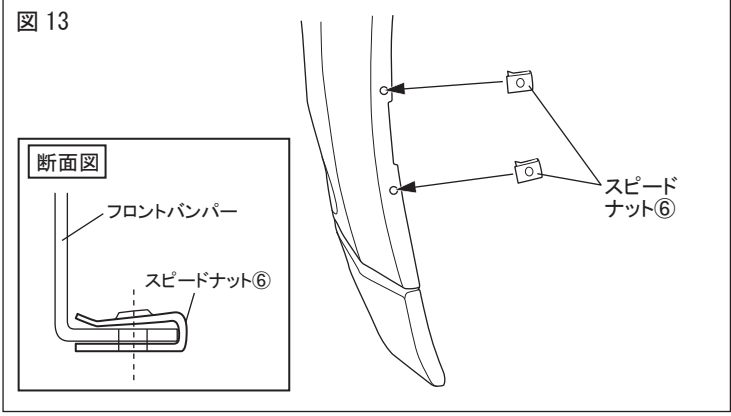
4. 図 12 のようにドリルにストッパーになるようにガムテープを巻き、型紙⑧の穴あけ位置に合わせて下穴をφ2.0であけ、φ5.0の本穴をあける。（左右各 1 箇所）

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

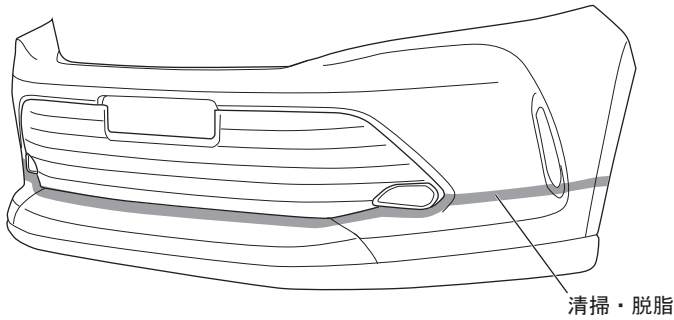
5. 型紙⑧を剥がし、穴周囲のバリを除去する。

⚠️ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



6. 図 13 のように 4. であけた穴にスピードナット⑥を取り付ける。（左右各2箇所）

図 14



7. 図 14 のようにフロントスポイラー①取付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

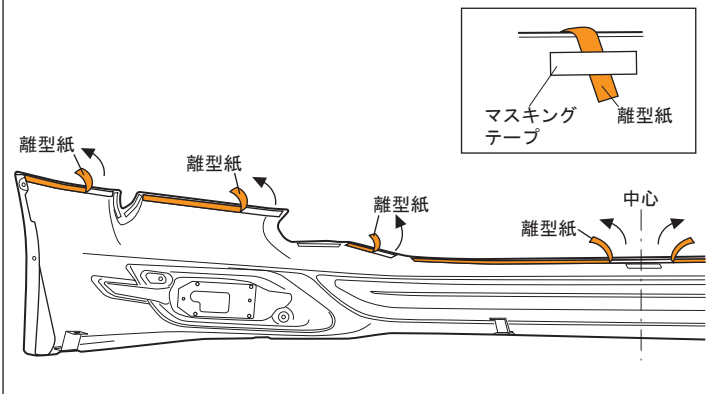
⚠ 注意：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください。

👉 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

⚠ 警告

脱脂作業は大変重要な作業です。脱脂作業が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。

図 15 裏面視



8. 図 15 のようにフロントスポイラー①の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

⚠ 注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□フロントスポイラー取付要領

1. 図 16 のようにLEDランプハーネスをフロントバンパーロアにあけた穴から通し、フロントバンパーにフロントスポイラー①をかぶせる。

図 16

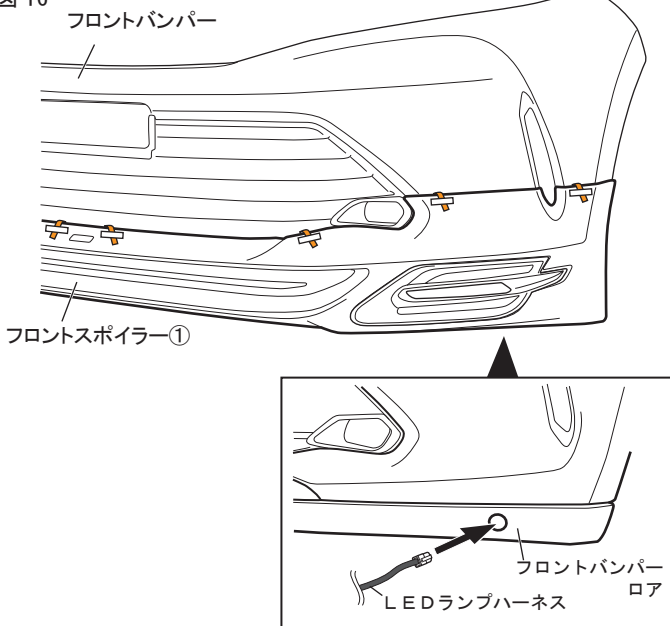
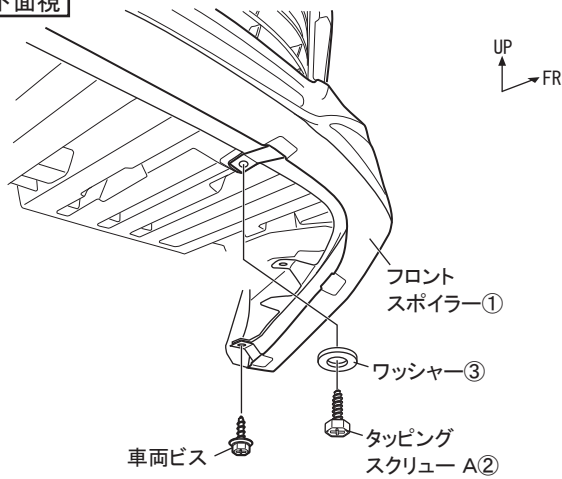
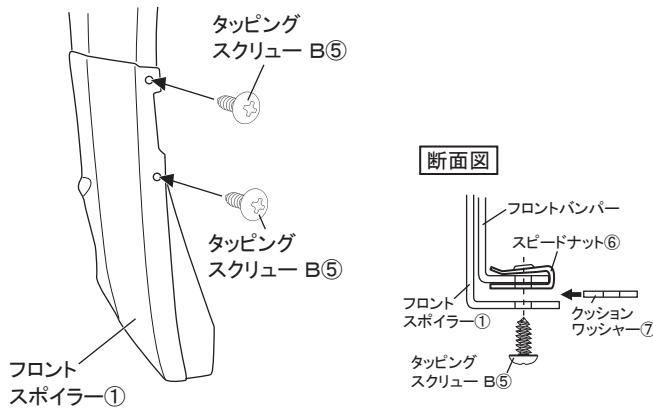


図 17 下面視



2. 図 17 のように下面外側を車両ビス（左右各 1箇所）、下面内側をタッピングスクリュー A ②とワッシャー③（左右各 1箇所）で仮止めする。

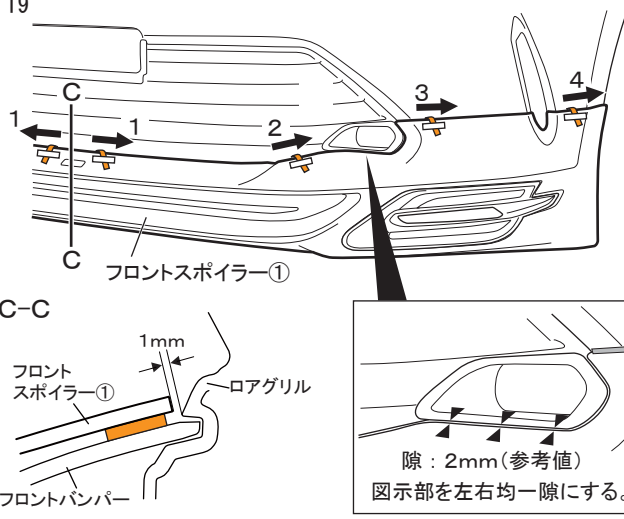
図 18 ホイールハウス部



3. 図 18 のようにホイールハウス部をタッピングスクリュー B ⑤で仮止めする。（左右各 2箇所）

△ 注意：ホイールハウス折り返し部に隙間が生じる場合は、クッションワッシャー⑦を使用して調整してください。

図 19

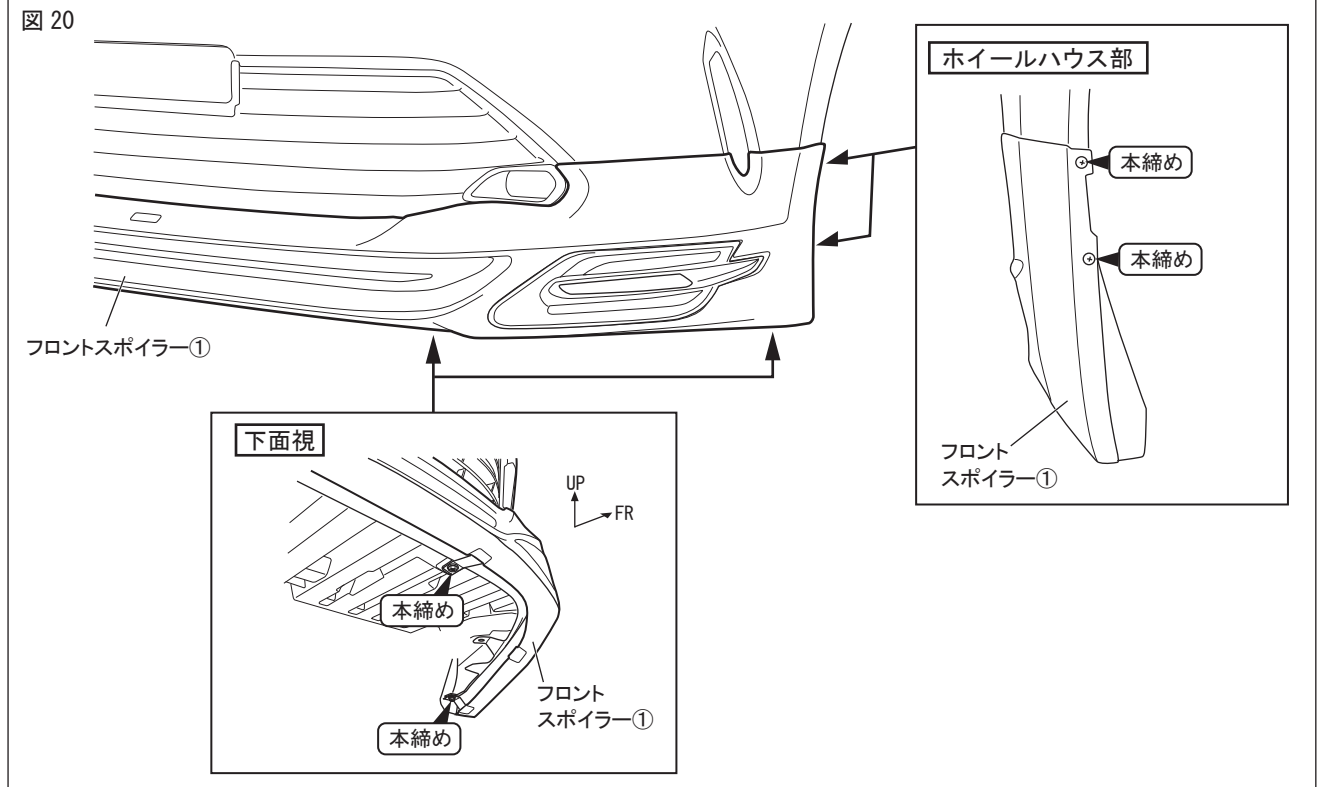


4. 図 19 のように各部の位置、隙を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

△ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

👉 アドバイス：各部の隙を確認する際は、シムを使用してください。

5. 図 20 のように下面のタッピングスクリューA②、車両ビス、ホイールハウスのタッピングスクリューB⑤を本締めする。



アドバイス 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、
掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

警告 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し
脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。



81430-ZU600 LEDデイタイムランプ

取付・取扱要領書

この度はTRD LEDデイタイムランプをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記TRD LEDデイタイムランプの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	適合	備考
81430-ZU600	MS341-48008/9	ハリアー '17/06~

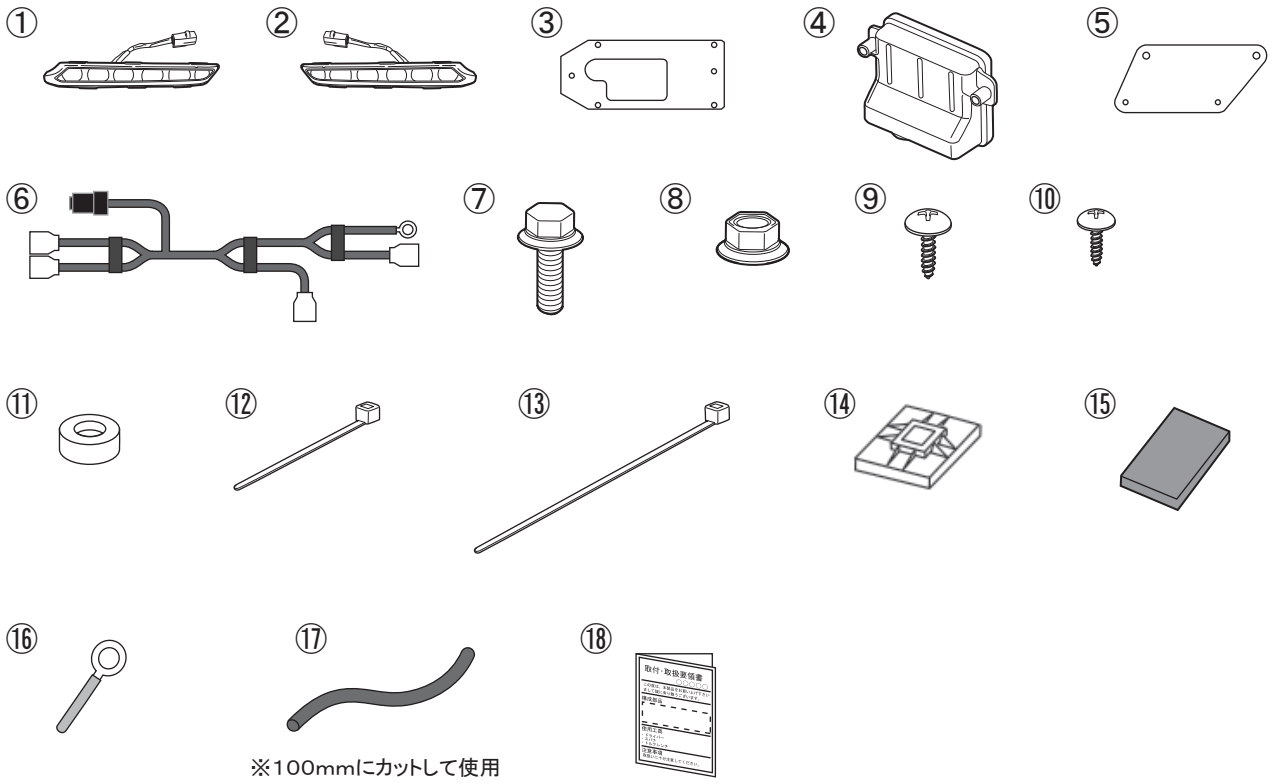
- * 本商品はフロントスポイラー（MS341-48008/9）に装着する専用部品です。
- * 本書は、LEDデイタイムランプを装着するための要領を記載しています。
- ・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	LEDランプ RH	1	
②	LEDランプ LH	1	
③	ランプリテーナー	2	LEDランプ用（左右共通）
④	ランプユニット	2	左右共通
⑤	ユニットブラケット	2	左右共通
⑥	ハーネス	1	エンジンルーム用
⑦	フランジボルト	4	M6×12
⑧	フランジナット	4	M6
⑨	タッピングスクリュー	8	M5×10
⑩	タッピングスクリュー	8	M4×12
⑪	カラー	2	t3.5×φ6
⑫	結束バンド	14	L=150
⑬	結束バンド	2	L=300
⑭	結束バンドベース	3	
⑮	クッション	4	50×100
⑯	クランプ	2	
⑰	コルゲートチューブ	1	φ10/L=200
⑱	取付・取扱要領書	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



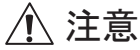
取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと



警告

⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。



注意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または、「(株)タクティータ取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N (5Kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。

⊘ 本商品の取付け24時間は、洗車や水(水拭き含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

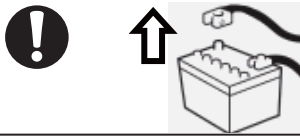
取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

LEDデイトタイムランプ配線取付け上の注意事項

- ❗ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください。
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❗ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。
取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



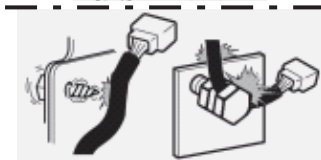
取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。

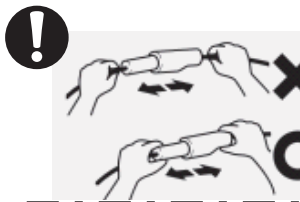


部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。

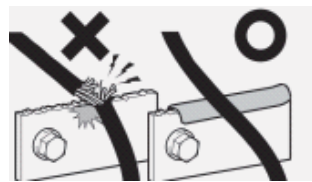


- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。



配線の取りまわしは

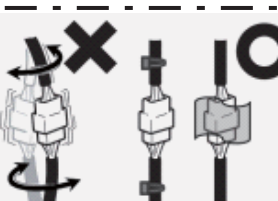
- ・コネクターは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクターは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクターが振動により異音がないように、確実に固定する。

⚠ 注意

- ❗ バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1～2
2. 取付け・取扱いご注意（作業者様へ） 3
3. 配線取付け上の注意事項 4
4. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 5
5. 取付け要項 6～10
6. 取付け完了後の点検、注意事項 10
7. 回路図 11

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具（電動ドリル・ハサミ・カッター等）・ニッパー・ラチェットレンチ・ドライバー
- ・保護シート・保護テープ・ビニールテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

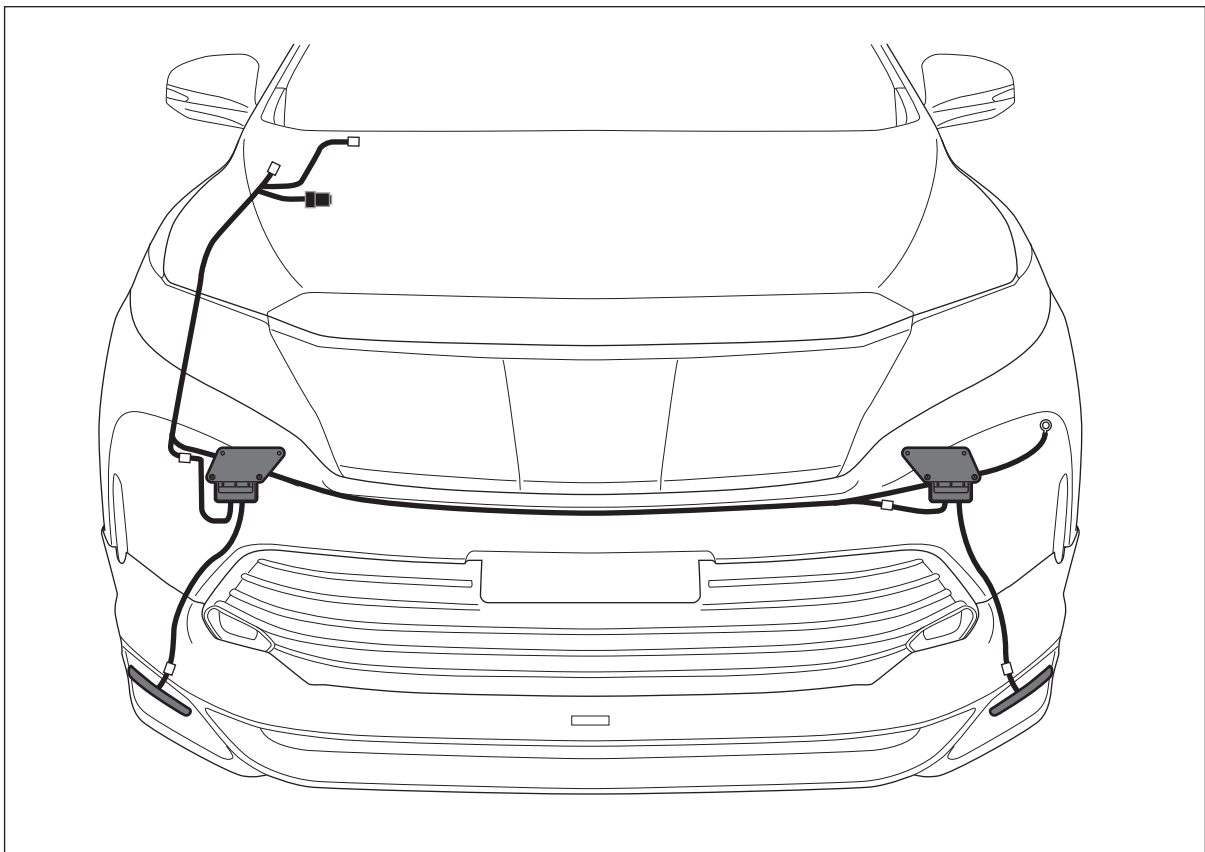
■ 本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



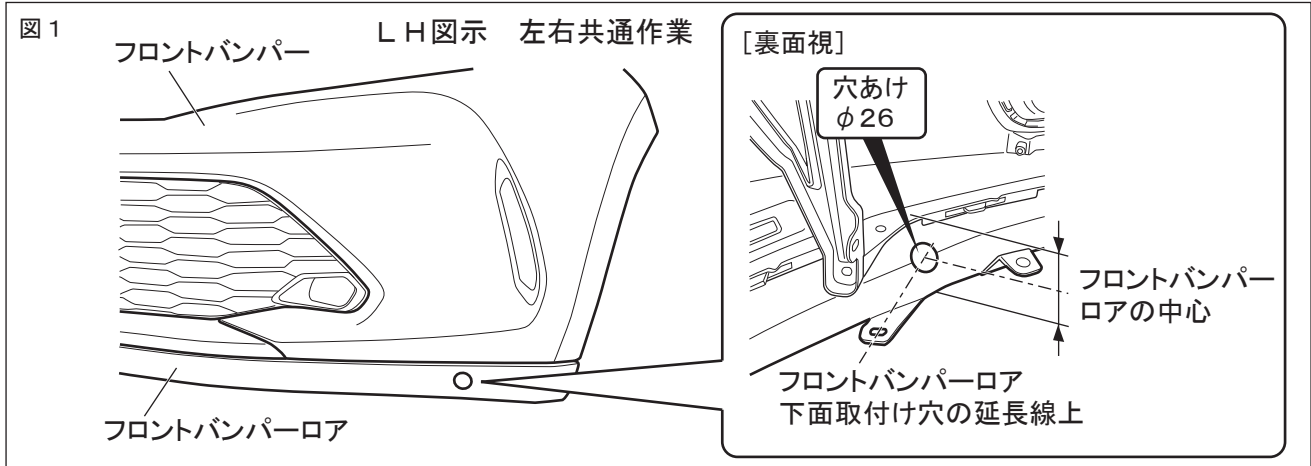
■LEDデイタイムランプ取付けについて

下記は、LEDデイタイムランプ取付け準備・配線取廻し作業を記載しています。

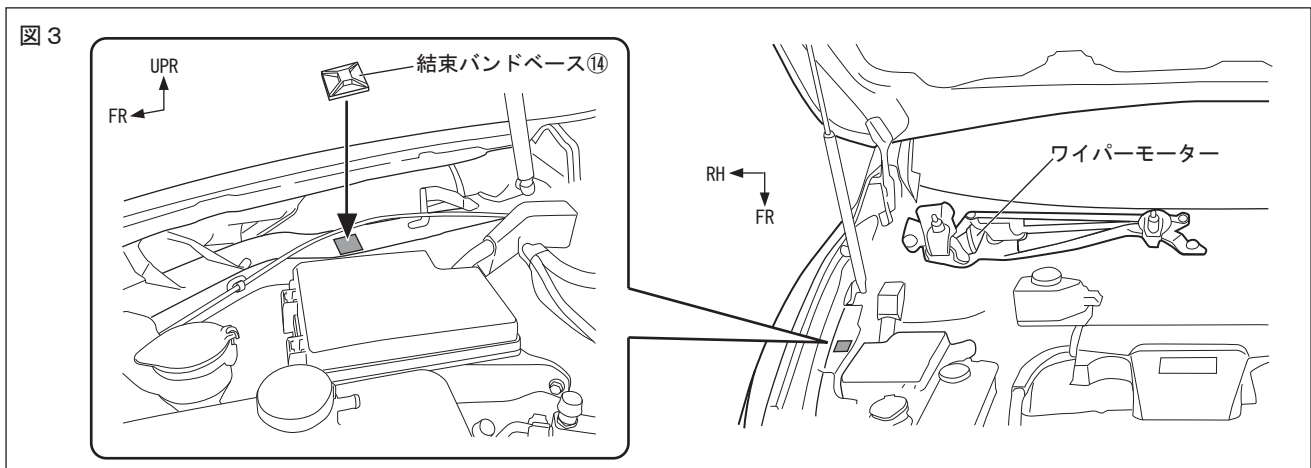
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項・要領のとおり作業を行なってください。

□取付け準備

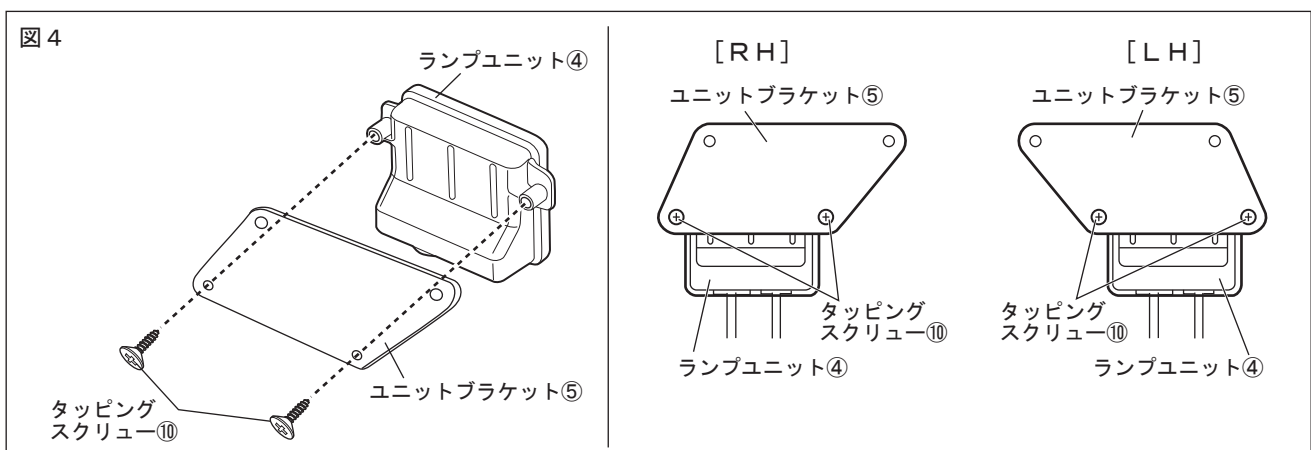
1. 該当車両の修理書に従い、フロントバンパーを取外す。
2. 図1のように、フロントバンパーローアにφ26の穴をあける。
※穴開け後は、穴周囲のバリを除去してください。



3. 該当車両の修理書に従い、ワイパーモーター部にアクセスできるよう、周囲のパネル類を取外す。
4. 図3のように、エンジンルーム内右側の図示部に結束バンドベース⑭を脱脂して貼り付ける。



5. 図4のようにランプユニット④にユニットブラケット⑤をタッピングスクリュー⑩で組み付ける。
(左右各1個組み付け)



- 図5のように、コルゲートチューブ⑩を半分の長さ（約100mm）にカットし、LEDランプ①②のハーネスに通してビニールテープを巻き、固定する。（左右各1箇所）
- 図5のように、クッション⑮を縦方向で半分にカットし、LEDランプ①②のハーネスコネクタに巻付け、結束バンドベース⑭を結束バンド⑫で固定する。（左右各1箇所）

図5

LH図示 左右共通作業



注意：ハーネス分岐部をコルゲートチューブで覆うようにしてください。（コルゲートチューブ中央付近）

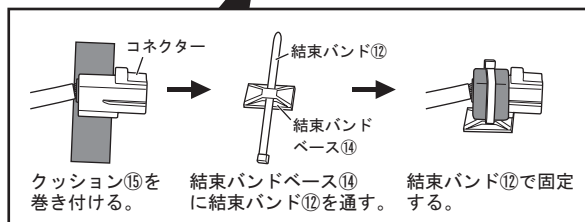
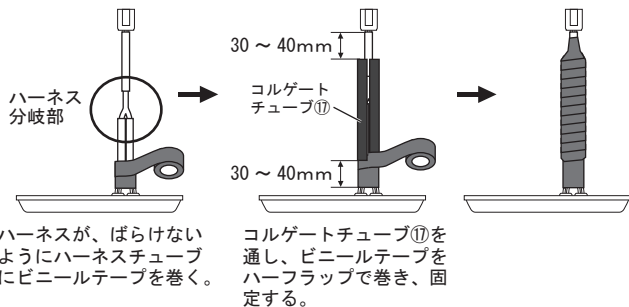
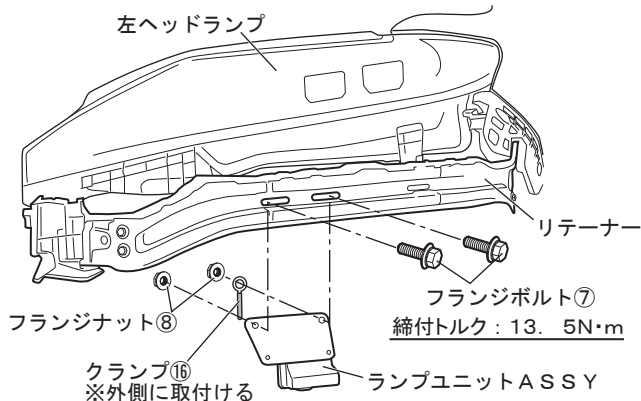


図6 左ヘッドランプ付近図 LH図示 左右共通作業

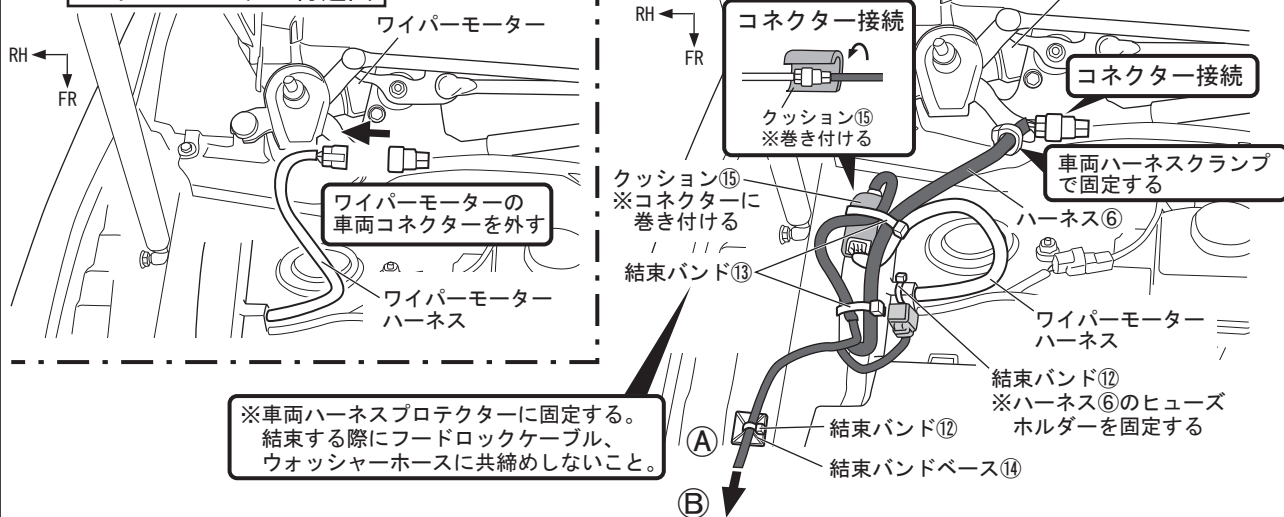


ユニット・ハーネスの取付け

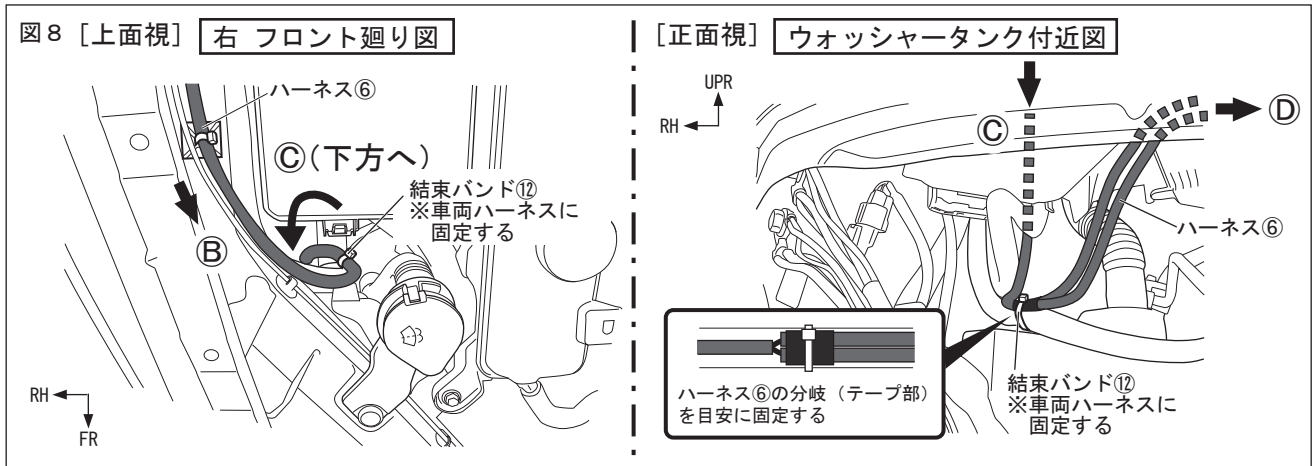
- 図6のように、前作業で組み付けたランプユニットASSYをヘッドランプ下にフランジボルト⑦とフランジナット⑧を使用して規定トルクで組付ける。（左右各1箇所）
【締付トルク：13.5N・m】
その際に外側の締結部にクランプ⑯を取付ける。

- 図7のように、ワイパーモーターの車両コネクタを外す。
- 図7のように、ワイパーモーターコネクタをハーネス⑥の5Pコネクタに接続し、クッション⑮を巻き付け、ハーネス⑥の余長を調整して結束バンド⑫、結束バンド⑬で固定する。
- 図7のように、ハーネス⑥を車両前方に取廻す。

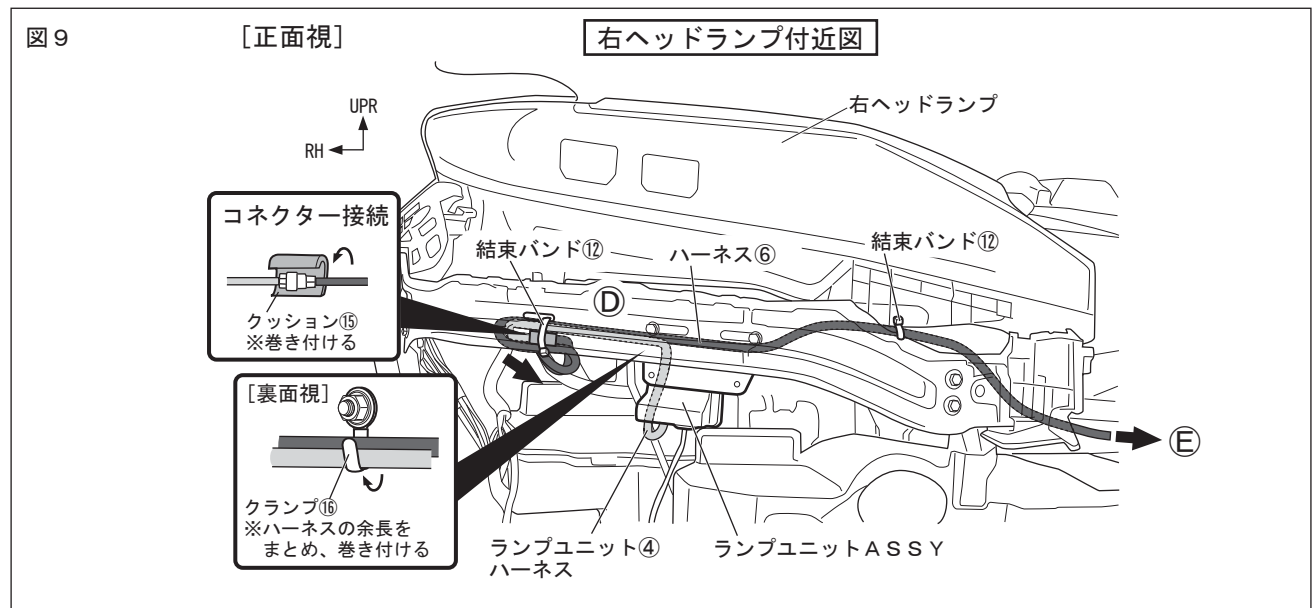
図7 ワイパーモーター付近図



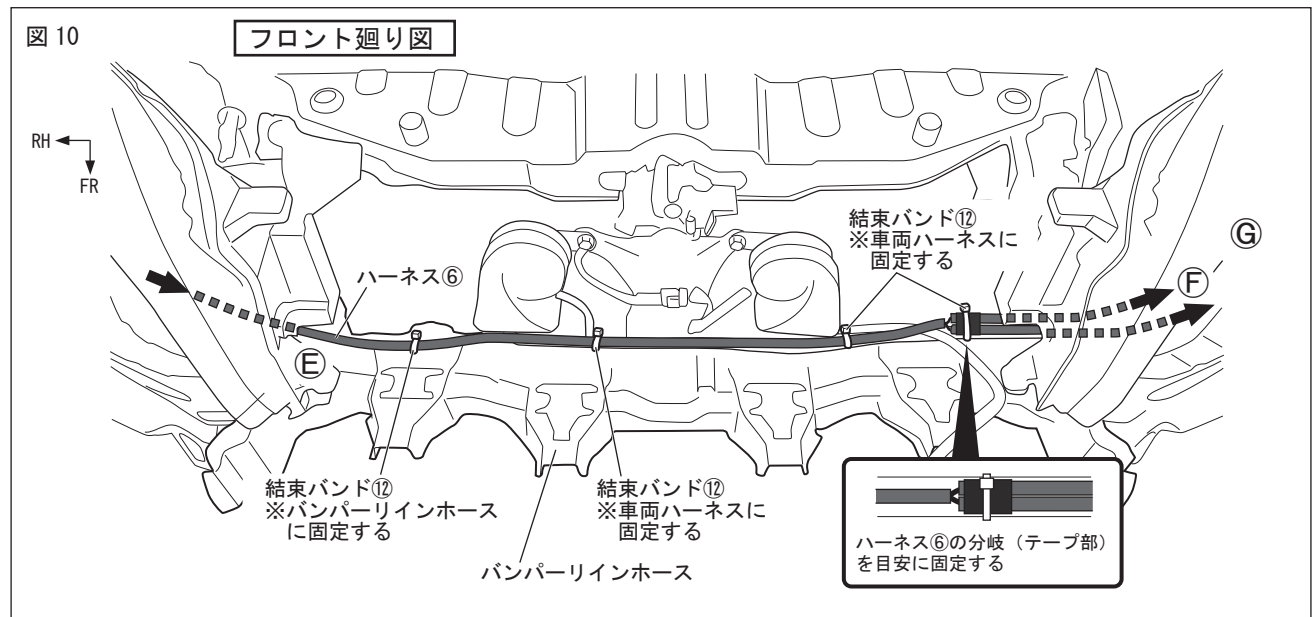
5. 図8のように、ハーネス⑥を取廻し、余長を調整して結束バンド⑫で車両ハーネスに固定する。



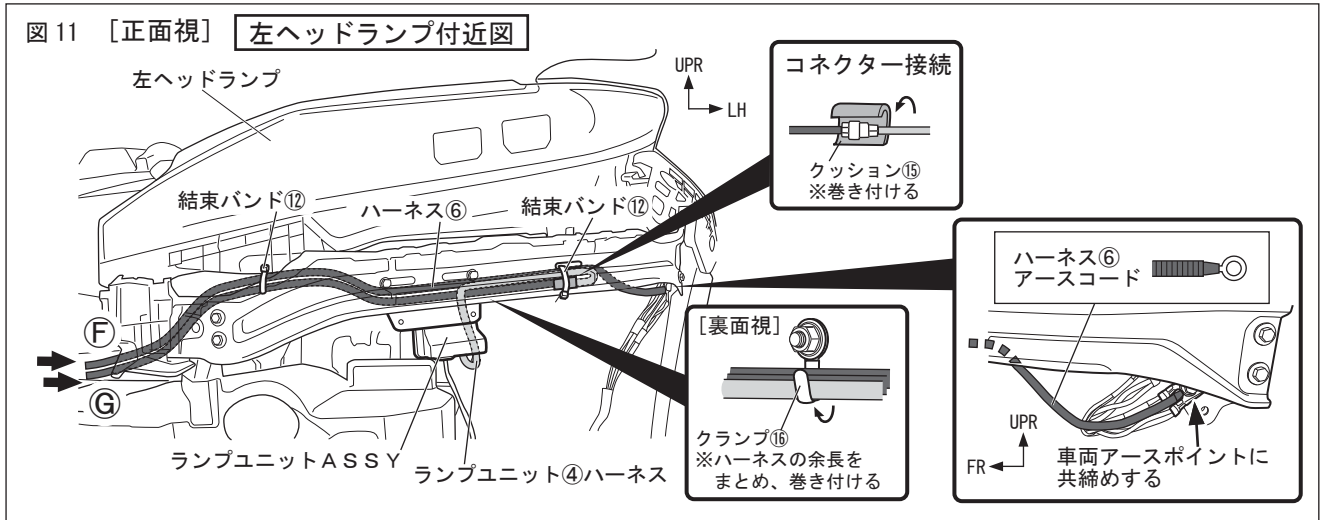
6. 図9のように、ハーネス⑥を通してランプユニット④のハーネスコネクタを接続してクッション⑮を巻き付け、余長を調整して結束バンド⑫でリテーナーに固定する。



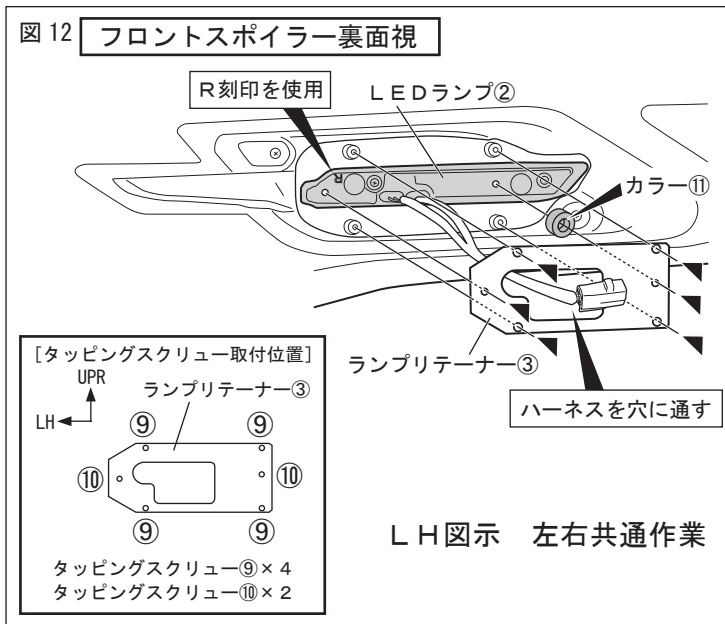
7. 図10のように、ハーネス⑥を通して余長を調整して結束バンド⑫でバンパーラインホースまたは車両ハーネスに固定する。



8. 図 11 のように、ハーネス⑥を左ヘッドランプ下部のリテーナー裏側に取廻し、ハーネス⑥のアースコードを車両アースポイントに共締めする。
9. ランプユニット④のハーネスコネクタを接続してクッション⑮を巻き付け、余長を調整して結束バンド⑫でリテーナーに固定する。



10. LEDランプ①②をランプユニット④のコネクタに仮接続してバッテリー⊖ターミナルを繋ぎ、LEDランプの点灯点検を行う。
11. 点灯点検の確認後、バッテリー⊖ターミナルを外し、LEDランプ①②をランプユニット④より外す。



12. 図 12 のようにフロントスポイラー裏側からLEDランプ②をランプリテーナー③、タッピングスクリュー⑨、タッピングスクリュー⑩、カラー⑪を使用して固定する。(左右各1組付け)

13. 修理書に従い、車両にフロントバンパー及び装着部品を復元する。

△注意：フロントアンダーカバーは、この時点では復元しないで下さい。

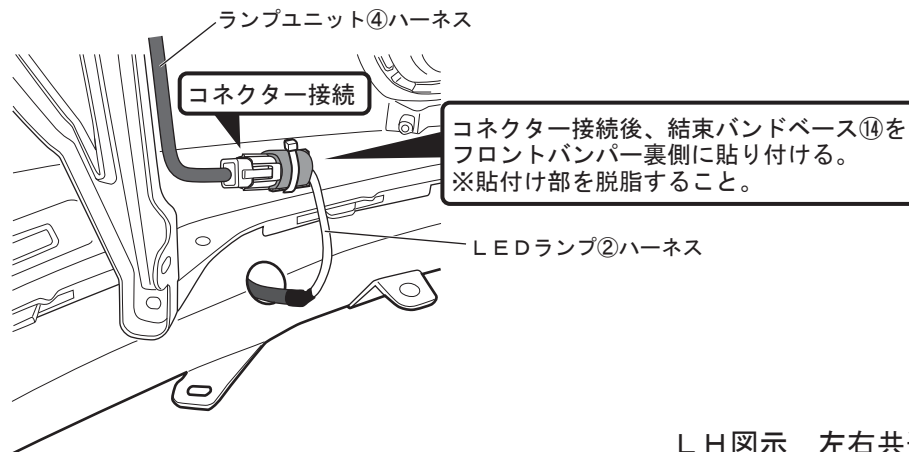
LEDランプをフロントスポイラーに組付けた後にフロントスポイラー取付要領書に従い、フロントスポイラーを車両に取付けてください。

□フロントスポイラー取付け後のハーネス固定作業

1. 図13のように、LEDランプ②の2Pコネクターとハーネス⑥の2Pコネクターを接続してクッション⑮を貼り付け、結束バンド⑫、結束バンドベース⑭を使用してフロントバンパー裏側へ貼り付ける。
(左右各1箇所)

△注意：結束バンドベースの貼り付け部は、十分に脱脂して下さい。
脱脂が不十分ですと剥がれ、ハーネスのバタツキの原因となります。

図13 フロントバンパー裏面視



LH図示 左右共通作業

2. ハーネス固定後にアンダーカバーを復元する。

すべての作業が完了後、⊖バッテリーターミナルを本締めし、該当車両の修理書に従い、各部センサー・灯火類等の調整・再設定を行ってください。

【⊖バッテリーターミナルの締付けトルク：5.4 N・m】

取付け後の確認・注意事項

- ・フランジボルト、フランジナットが確実に締付けられていることを確認する。
- ・ハーネスに無理な力が掛かっていないか、噛み込みや鋭利なエッジ部に干渉が無い事を確認する。

■ 回路図

